

博士学位論文 作成の手引き

2022 年度版

大阪公立大学
大学院生活科学研究科

博士学位論文作成の手引き

2022年度版 2022年4月(改訂2023年9月)

作成・発行 大阪公立大学大学院生活科学研究科
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
<https://www.omu.ac.jp/life/>

目 次 / 博士学位論文作成の手引き

第Ⅰ部 課程博士の博士論文作成の手引き	1
1. 博士学位論文執筆の概要(課程博士の場合)	2
2. 博士学位論文審査に関する手続き(課程博士)	4
(1) 課程博士の学位論文審査の手続き	4
(2) 学位授与の申請手続について(課程博士)	5
(3) 学位論文等提出時の注意事項(課程博士)	7
3. 博士学位論文申請関係書式(課程博士)	9
4. 課程博士学位論文製本様式等	21
第Ⅱ部 論文博士の博士論文作成の手引き	23
1. 博士学位論文の審査基準	24
2. 博士学位論文審査に関する手続き(論文博士)	25
(1) 論文博士の学位論文審査の手続き	25
(2) 学位授与の申請手続について(論文博士)	26
(3) 学位論文等提出時の注意事項(論文博士)	28
3. 博士学位論文申請関係書式(論文博士)	31
4. 論文博士学位論文製本様式等	43
第Ⅲ部 学位論文関係申合せ・規程	45
(参考) 博士学位論文申請関係書式(英語版)	47

「博士学位論文作成の手引き」について

この冊子は、博士学位論文の作成や審査を行うにあたって、必要となる手続きや資料をまとめ、説明を加えたものです。大阪公立大学大学院生活科学研究科で博士学位を取得しようとする場合は、研究活動を着実かつ活発に進めた上で、この冊子を参考として適切な手続きをしてください。

この冊子は以下のように、課程博士と論文博士の場合に分けて構成されています。

I. 課程博士の博士学位論文申請の手続き

課程博士学位取得のために求められる条件の概要と、博士後期課程の大学院生が3年の標準修業年限内に学位を取得する場合のスケジュールのイメージを記述し、学位論文審査に関する手続きと注意を記載しています。また申請関係の書式を掲載しています。

II. 論文博士の博士学位論文申請の手続き

論文博士学位取得のための審査基準の概要と、学位論文審査に関する手続きと注意を記載しています。また申請関係の書式を掲載しています。

III. 学位論文関係申合せ・規程・規則

生活科学研究科における博士論文審査手続きに関する研究科の申合せと大学の規程、規則です。

博士学位取得を目指す大学院博士後期課程学生や大阪公立大学大学院生活科学研究科博士後期課程を単位取得退学した学生が退学後1年以内に学位論文の審査が終了する見込みの方はこの冊子の「I. 課程博士の博士学位論文申請の手続き」を、社会人等で学位取得を検討している方は「II. 論文博士の博士学位論文申請の手続き」を読んでください。

(注) この冊子は毎年刊行ではありません。発行後変更する内容もありますので、指導教員や事務に確認してください。

第 I 部

課程博士の博士論文作成の手引き

1. 博士学位論文執筆の概要（課程博士の場合）

(1) 研究テーマと研究計画の作成

博士後期課程の標準修業年限は3年です。3年間で有効に活かすために、①適切なテーマ、および②論文の全体構成、をできるだけ早期に設定、確定するとともに、③3年間を見通した長期計画、④1年間あるいは半年間という短期間における具体的課題の実施計画、をそれぞれ作成し、指導教官と十分に相談してください。研究の進展に伴って計画を変更する場合には指導教官と十分協議し、新たな計画を策定してください。

研究計画立案にあたっては、テーマや論文構成を熟慮することが必要です。研究論文にはいくつかのタイプがあります。例えば以下のようなものが考えられますが、必ずしもこれらにこだわる必要はありません。

- i 発展型： 特定課題・テーマについて深化させたり、発展させるもの
- ii 複合型： 関連する複数の課題・テーマの論文をまとめ、より広い視野を提示するもの
- iii 総合型： 特定課題・テーマについて、多様な観点から研究し、総合的知見を得るもの
- iv 折衷型： i～iii を組み合わせたもの
- v 実務型： 具体的提案等の妥当性、有効性を学術的に検証するもの

(2) 博士学位論文執筆スケジュールと指導体制

一般的には以下のようなスケジュールで研究を進めます。指導教員と密接に日常的に連絡、相談してください。

1年次4月	指導教員決定／講義受講登録(前期・集中) 研究計画の検討、研究計画の立案、短期・長期計画の決定
1年次9月	研究進捗状況の確認／講義受講登録(後期)
1年次2月(翌年)	研究経過報告、スケジュールの確認と見直し
2年次4月	講義受講登録(前期・集中)
2年次9月	研究進捗状況の確認／講義受講登録(後期)
2年次2月(翌年)	研究経過報告
3年次4月	講義受講登録(前期・集中) 博士学位論文執筆計画の策定
3年次9月	博士学位予備論文の提出(指導教員へ)／講義受講登録(後期) 博士学位予備論文の審査(中間発表・指導・執筆許可)
3年次12月頃	博士学位論文提出・審査
3年次3月(翌年)	課程博士学位取得

(3) 審査基準

博士学位論文審査の基準はテーマや領域によって多少異なりますが、論文としてのまとまりや完結性、一貫性、完成度を確保していることが基本条件です。さらに、「独創性」「新規性」「有用性」「体系性」「論理性」「実証性」「論証性」「普遍性」「高度性」などの価値があることとそれらの水準の高さが基準となります。このような条件を備えた論文を完成する、あるいは完成が見込まれることがまず必要です。

そのうえで、学位請求論文を提出するまでに申請者が満たしておくべき条件は次の2点です。

- 1) (課程博士の場合) 課程修了に必要な大学院科目の単位修得が見込めること
 - 2) 高度の研究能力、およびその基礎となる学識を有することを示す客観的資料があること
- 2)については、論文審査のある学術誌に、第1著者として投稿論文が一定編数以上掲載されたか、または確実

に掲載されることを評価の参考とします。ただし、これは最低限の目安であり、繰り返しになりますが、学位請求論文自体の完成度の高さと価値が前提条件となります。そのことを踏まえて、投稿論文の性質、内容や執筆経緯、学位請求論文への寄与度等を含めて総合的に評価されます。

2)の客観的資料として、一般的には学術誌への投稿論文が参考とされます。詳細は指導教員に照会してください。

(4) 研究の進行モデル

課程博士の場合の研究・論文執筆スケジュールは、例えば以下ようになります。着実に研究を進めることができるように、長期・短期の計画を綿密に作っておいてください。

なお下表中の「研究①・・・」は必ずしも別テーマでなく、関連・発展テーマであることもあります。また、一つのテーマによって複数の論文を投稿することもあります。

	研究計画の検討・立案	研究作業(実験・調査・分析・執筆)	学会等発表
1年目	3年間の研究計画 当面の研究課題① 追加的研究課題② 研究計画の修正検討	研究①開始 ①実験・調査 ①分析・執筆 ①学会誌執筆 研究③開始 ③実験・調査	研究②平行開始 ②研究作業 ②執筆
			研究①口頭発表 研究①投稿 研究①掲載 研究②投稿
2年目	研究計画検討 2年目の研究計画 研究計画の修正・追加検討	③分析・執筆 ③学会誌執筆 追加研究⑤開始 ⑤実験・調査	研究④平行開始 ④研究作業 ④執筆
			研究②掲載 研究③投稿 研究②③口頭発表 研究③掲載
3年目	論文構成の検討 研究全般の見直し 指導・執筆許可	⑤分析・執筆 ⑤執筆 学位論文執筆 予備論文提出 学位論文提出	研究④投稿 研究⑤投稿 研究④掲載 研究⑤掲載 (審査) (審査) 学位取得

2. 博士学位論文審査に関する手続き（課程博士）

(1) 課程博士の学位論文審査の手続き

手 順	内 容	関 係 者	作 成 書 類
1. 申請準備	論文題目提出	申請者 →指導教員	【申請者】論文内容説明資料
2. 分野内事前審査	専門分野における、論文内容等のヒアリング・回覧	申請者 →関連分野教授	(同上資料)
3. 申 請	学位論文・書類の提出(提出資格確認／指導教員の承認を得る) 注:提出期日に提出のこと	申請者→事務	【申請者】学位授与申請書、学位申請論文、履歴書、論文目録、学位論文内容の要旨 等
4. 審査委員会発足	提出者の適格性確認 論文受理の可否決定 審査委員選出	指導教員 → 研究科教授会	上記のうち、学位申請論文、履歴書、論文目録、学位論文内容の要旨
5. 審 査	主査互選・運営方針 学位論文の審査及び試験	審査委員会	【事務】審査実施の決裁
6. 中間報告 (審査の中途)	研究科教授会へ中間報告 公聴会日程報告	審査委員会 → 研究科教授会	学位申請論文、履歴書、学位論文目録、学位論文内容の要旨
7. 公聴会		申請者 審査委員会	【審査委員(主査)】公聴会の案内
8. 最終報告 学位授与判定	研究科教授会へ最終報告 審査委員会最終報告に基づき審議 学位授与の可否投票・決定	審査委員会 → 研究科教授会	学位申請論文、履歴書、論文目録、学位論文内容の要旨 【審査委員会】論文審査の結果の要旨、試験の結果の要旨
9. 決裁 学長に報告		研究科長(事務) →学長	【事務】決裁
10. 学位授与	学位記授与(不授与通知)	学長→申請者	学位記(通知書)
11. 公式ウェブサイト用要旨の提出		申請者→事務 主査→事務	【申請者】公式ウェブサイト用論文要旨 【主査】公式ウェブサイト用審査要旨
12. 学位論文提出		申請者→事務	【申請者】学位論文(製本) 論文全文の電子ファイル

(2) 学位授与の申請手続について(課程博士)

1. 学位論文提出資格

- (1) 研究科博士後期課程に在学中で、在学期間が当該年度末までに3年以上となり、所定の単位を修得又は修得見込みで、かつ、必要な研究指導を受けた者。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に3年(修士課程を含む)以上在学すれば足りるものとします。
- (2) 外国で修士学位を授与されたり、本研究科で修士学位取得者と同等以上の学力があると認められて入学した場合等(大学院学則第11条第1項第3号から第5号に掲げる者)にあつては、3年以上在学し、必要な研究指導を受けた者とします。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。
- (3) 本研究科に3年以上在学し、所定の単位を修得し単位修得退学した学生が退学後1年以内に学位論文の審査が終了する見込みである者。
学位申請する場合は、退学前に研究科教授会による認定を受けておく必要があります。退学届と単位修得退学に伴う学位授与申請資格認定願を研究科長あてに提出してください。

2. 学位論文提出期日

1月10日 4月10日 6月10日 7月10日 10月10日 12月10日

ただし、当日が休日の場合はその前日になります。

3. 提出論文及び関係書類

指導教員の承認を得て、次の書類等を学生サポートセンター生活科学部担当に提出してください。

- | | |
|--|-----------------|
| ① 学位授与申請書 | 1部 |
| ② 学位申請論文 | 4部及び電子ファイル(PDF) |
| ③ 履歴書 | 5部 |
| ④ 論文目録 | 5部 |
| ⑤ 学位論文内容の要旨 | 5部 |
| ⑥ 公式ウェブサイト公表用論文内容の要旨(学位授与後、3か月以内に電子ファイル提出) | 1部 |
| ⑦ 同意承諾書(学位論文副論文中に共同研究者がいる場合に提出) | 1部 |
| ⑧ 学位申請誓約書 | 1部 |

(注)②学位申請論文の部数は、審査委員数が3名を超える場合は、超えた人数を加えた部数とします。

4. 学位論文の試験

提出論文を中心としてこれに関連する分野について、筆記又は口頭で行います。

5. 学位授与

論文審査及び最終試験に合格した者には、博士の学位を授与します。

6. 学位論文の公表

博士の学位を授与された場合は、学位を授与された日から1か月以内に、製本した学位論文1部、学位論文全文の電子ファイル及び「大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書」を生活科学部教務担当に提出するとともに、1年以内に、その論文を本学の公式ウェブサイトにより公表しなければなりません。また共著者がある場合は事前に電子ファイルを国立国会図書館に送付し利用に供する旨を共著者に伝え承諾を得てください。ただし、学位を授与される以前に既に公表したときは、この限りではありません。また、やむを得ない事由がある場合には、学長の承認を得て、当該論文の全文に代えてその内容の要約にとどめることができます。

7. 全文公表できない場合の手続き

学位取得者は、学位論文全文に代えて要約を公表する「やむを得ない事由」があるときは、学位取得後速

やかに「学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書」を研究科に提出してください。

「やむを得ない事由」は下記のとおりとします。

- ①インターネット公表ができない内容を含む場合
 - ・当該論文に立体形状による表現を含む場合
 - ・著作権や個人情報に係る制約がある場合
 - ・共同研究者等が非公表と定めている事項を含む場合
- ②インターネットによる公表により明らかな不利益が発生する場合
 - ・出版刊行をしている、もしくは予定されている場合
 - ・学術雑誌に掲載されている、もしくは予定されている場合
 - ・特許の申請がある、もしくは予定されている場合
- ③その他
 - ・研究科が特に「やむを得ない事由」があると認めた場合

申立てが認められた場合は、学位論文2部と学位論文の全文及び要約の電子ファイルを生活科学部教務担当に提出してください。

学位論文の要約公表が認められる期間は、立体形状、著作権、個人情報又は共同研究に係る制約がある場合を除き、学位授与日から5年以内とします。期間を過ぎても全文を公表できない場合は、改めて学位取得者又は指導教員が「学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書」を生活科学部教務担当に提出し、承諾を得なければなりません。手続きが行われない場合や、研究科の承認が得られなかった場合は、期限を過ぎた時点で全文を公表します。

(3) 学位論文等提出時の注意事項(課程博士)

大阪公立大学学位規程(以下「学位規程」という。)第3条第2項による学位(課程博士)の学位論文の審査を願ひ出る者は、「学位授与の申請手続について(課程博士)」に基づき、この注意事項に従って書類を作成してください。

書類に不備がある場合は受理できませんので、書類提出前に必ず指導教員の点検を受けてください。

1. 学位授与申請書《様式(課)1》

- (1)主任指導教員の承認を得て、学位論文及び関係書類とともに生活科学部教務担当に提出してください。
- (2)氏名は、戸籍謄本記載のとおり記入してください。
- (3)同意承諾書の有無については、該当する方を○で囲んでください。

2. 学位申請論文

- (1)申請時の論文は仮製本(製本テープ等で製本)してください。(ファイルしただけでは受理できません。)
- (2)表紙に論文題目、氏名を記載してください。
- (3)用紙は、原則としてA4判とし、縦位置、横書きとします。ただし、特別の場合は縦書きでもかまいません。
- (4)論文はPCで作成し、印刷またはコピーしてください。
- (5)電子ファイルはPDF形式で提出してください。

3. 履歴書《様式(課)2》

- (1)氏名は戸籍のとおり記載し、氏名にはふりがなを付してください。
- (2)本籍地は都道府県名だけを記載してください。外国人の場合は国籍を記載してください。
- (3)現住所は、住民票に記載されている住所を記載してください。
- (4)学歴は以下のように記入してください。
 - ①高等学校卒業より、年次を追って記載してください。
 - ②入学・休学・復学・退学・卒業・修了その他在籍中における異動についても、もれなく記載してください。
 - ③在籍中における学校の名称等の変更についても記載してください。
- (5)職歴は、常勤の職について、その勤務先、職名等を年次を追って記載してください。ただし、非常勤の職であっても、特に教育・研究に関するものについては記載するようにしてください。
- (6)研究歴は、学位申請上、特記すべきものと思われる研究歴について、年次を追って、又は事項別に記載してください。学歴又は職歴として記載することが適当なものについては、研究歴の項に重複して記載しないでください。
- (7)賞罰について
学位申請上、特記すべきものと思われるものを記載してください。特に記載する事項がない場合には、「特記事項なし」と記入してください。

4. 論文目録《様式(課)3》

- (1)主論文(学位申請論文)について
 - ①題目(副題を含む。)は、提出論文のとおり記載してください。
 - ②外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を、題目の下に()を付して記入してください。
- (2)副論文(主論文を構成する論文)について
副論文がある場合は、その題目を記載し、副論文がない場合は「なし」と記載してください。また、副論文の公表の方法及び時期の記載については、学位論文に準じてください。
- (3)参考論文(主論文を直接構成しない論文)について
参考論文がある場合は、その題目を記載し、参考論文がない場合は「なし」と記載してください。また、参考論文の公表の方法及び時期の記載については、学位論文に準じてください。

(4) その他

所定の用紙に書ききれない場合は、別紙として A4 判用紙に必要事項を記載してください。

5. 学位論文内容の要旨 《様式(課)4》

- (1) 論文題目は、提出論文のとおり記載してください。なお、題目が外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を、題目の下に()を付して記入してください。
- (2) 論文が何章かに分かれている場合は、章ごとに順を追って記載してください。

6. 同意承諾書 《様式(課)6》

申請学位論文副論文に、著者順にかかわらず共同研究者がいる場合には、記載例を参考として、共同研究者の承諾書(A4 判)を添付してください。日付は受理日の6か月以内に行ってください。(参考論文にかかる共同研究者の承諾書は不要です。)

なお、共同研究者が数名の場合の同意承諾書は1人ずつ別葉にして作成してもかまいません。

7. 公式ウェブサイト公表用論文内容の要旨 《様式(課)7》

- (1) 学位授与が決定した場合、本学の公式ウェブサイトで公表する博士論文要旨の原稿として電子ファイルにて提出してください。
- (2) 論文題目は、提出論文のとおり記載してください。なお、題目が外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を、題目の下に()を付して記入してください。

8. 学位論文(製本)

- (1) 論文は製本してください。

学位論文の製本は次のようにしてください。(4. 課程博士学位論文製本様式等をご確認ください。)

①製本はハードカバーとして、表紙の色は黒または濃紺とし、表紙に論文名・授与年度・著者名を、背表紙には論文名と著者名を金文字で記載してください。標題紙(内表紙)には表紙の項目に加えて研究科・専攻名(生活科学研究科生活科学専攻)を著者名の上部に記載してください。

②論文名が欧文の場合は、和文の題目を()に入れて記載してください。

- (2) 学位授与後に、学位論文(製本)1部と論文全文の電子ファイルに大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書《様式(課)8》を添えて、生活科学部教務担当に提出してください。

やむを得ない事由があり、論文全文を公式ウェブサイトに公表できない場合は、学位取得後速やかに学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書《様式(課)9》を生活科学部教務担当まで提出してください。研究科の承認を得て、その内容の要約《様式(課)10》と学位論文(製本)を追加で1部(計2部)提出してください。

9. その他

記載にあたって不明な点があれば、生活科学部教務担当に照会してください。

3. 博士学位論文申請関係書式（課程博士）

※各様式は学生 Navi（情報共有サイト）からダウンロード可能です。

様式(課) 1	学位授与申請書
様式(課) 2	履歴書
様式(課) 3	論文目録
様式(課) 4	学位論文内容の要旨
様式(課) 5	学位申請誓約書
様式(課) 6	同意承諾書
様式(課) 7	論文内容の要旨・論文審査の結果の要旨（公式ウェブサイト用）
様式(課) 8	大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書
様式(課) 9	学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書
様式(課) 1 0	論文内容の要約
様式(課) 1 1	単位修得退学に伴う学位授与申請資格認定願

学 位 授 与 申 請 書

年 月 日

大阪公立大学長

様

生活科学研究科

専攻

氏 名

このたび、大阪公立大学学位規程第5条第2項の規定により、博士（学術）の学位を受けたく学位論文（ ）部に下記書類を添えて申請いたします。

記

1. 論 文 目 録
2. 学位論文内容の要旨
3. 履 歴 書
4. 同意承諾書（有・無）

履 歴 書

報告番号	甲 第 号		
(ふりがな) 氏 名	年 月 日生	性 別	男 ・ 女
生年月日		本籍地	
現住所			
(学 歴)	○○年○月 ○○高校 卒業 ○○年○月 ○○大学○○学部○○学科 入学 ○○年○月 ○○大学○○学部○○学科 卒業 ○○年○月 ○○大学大学院○○研究科前期博士課程 ○○専攻 入学 ○○年○月 ○○大学大学院○○研究科前期博士課程 ○○専攻 修了 ○○年○月 ○○大学大学院○○研究科後期博士課程 ○○専攻 入学 (現在に至る)		
(職 歴)			
(研 究 歴)			
(賞 罰)			

論 文 目 録

報告番号	甲 第	号	氏 名
<p>主 論 文</p> <p>○○○○○○○○○○</p> <p>(※外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を () 内に記入してください)</p> <p>副 論 文</p> <p>○○○○○○○○○○</p> <p>参考論文</p> <p>○○○○○○○○○○</p>			

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

報告番号	甲 第 号
論 文 名	(※論文名が外国語の場合は日本語訳文、日本語の場合は英語訳文を () 内に記入してください)
氏 名	

学位申請誓約書

年 月 日

大阪公立大学生活科学研究科長 殿

私は、提出する学位申請論文について、研究不正を行わず、適正に執筆したことを誓約いたします。

学位論文名：

(題名が外国語で表示している場合は、日本語訳を併記すること)

フリガナ

氏名 _____

生年月日 _____ 年 月 日

本籍 _____ 都道府県

現住所 〒 _____

同 意 承 諾 書

私は、下記の共同研究論文を〇〇〇氏の学位論文とすることを承諾します。
なお、この論文を再び私の学位論文に使用することはありません。

記

論文題目（外国語の場合は、その日本語訳を付記すること）

（論文題目）〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

学会誌・雑誌名，巻号，ページ，発行年月

年 月 日

共同研究者

氏名

氏名

氏名

（注）共同研究者が複数の場合の同意承諾書は1人ずつ別葉にしてもよい。

様式(課) 7

論文審査の概要表 記載における注意(※注意文は削除してください)

- ・MS明朝、10. 5ポイント、全角で記入ください。
- ・氏名の間は1スペース空けてください。

氏	名
学 位 の 種 類	
学 位 授 与 年 月 日	
学 位 論 文 名	
論文審査委員	主査
	副査
	副査

論文内容の要旨

論文審査結果の要旨

大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書

年 月 日

大阪公立大学図書館長 様

- 私が大阪公立大学に提出した博士学位論文について、全文を本学の学術情報リポジトリに登録し公表することを申請します。
- 私が大阪公立大学に提出した博士学位論文について、全文に代えて要約を公表することが認められたので、要約を本学の学術情報リポジトリに登録し公表するとともに、博士論文全文（冊子）を本学図書館に保管を委託し閲覧に供することを申請します。

フリガナ

博士論文提出者 氏名（自署）

研究指導教員として、上記を了承します。

研究指導教員 氏名（自署）

論文題目（和文）	
論文題目（欧文）	
研究指導教員の 所属・職・氏名	
その他の連絡事項	
電子データ 提出予定日	年 月 日（この書類の提出の後に電子データを提出する場合）

連絡先

所 属	
住 所	
電話番号	
電子メールアドレス	

* 全文に代えて要約を公表することが認められた場合は、

1. 「学位論文全文に代えて要約を公表することの承認通知書」の写しを添付してください。
2. 学位論文要約、及び全文の電子ファイルを提出してください。なお、公表できない事由が解消して全文公表が可能となった場合は、速やかに学位論文全文をリポジトリで公表し、冊子体の学位論文の取り扱いは図書館の運用に準ずるものとします。

* 電子ファイルは、PDF 化して電子媒体にて、教育推進課生活科学部教務担当に提出してください。

* 記載いただいた事項は目的外の用途には使用しません。

* 連絡先については、修了後も連絡が取れる電話番号、アドレスを記載してください。

また、電子メールアドレスには、大学から付与された omu アドレス以外を記入してください。

学位論文全文に代えて要約を公表することの

申 立 書

年 月 日

大阪公立大学 学長 様

申立者 住 所

氏 名 (自署)

研究指導教員 所属・職

氏 名 (自署)

学位取得者 氏 名			
学位の名称	博士 ()	取得年月日	年 月 日
学位論文名			
全文に代えて要約を公表する事由			
<input type="checkbox"/> 当該論文に立体形状による表現を含むため <input type="checkbox"/> 著作権や個人情報に係る制約があるため <input type="checkbox"/> 共同研究者等が非公表と定めている事項を含むため <input type="checkbox"/> 出版刊行をしているため <input type="checkbox"/> 出版刊行が予定されているため <input type="checkbox"/> 学術雑誌に掲載されているため <input type="checkbox"/> 学術雑誌に掲載が予定されているため <input type="checkbox"/> 特許の申請があるため <input type="checkbox"/> 特許の申請が予定されているため <input type="checkbox"/> その他 () (上記事由の具体的説明)			
要約を公表する 期 間			

※要約公表期間は学位授与日から最長 5 年以内（立体形状、著作権、個人情報又は共同研究に係る制約がある場合を除く）。当初の要約公表期間を延長する場合は、改めて本様式を研究科に提出する。

論文内容の要約

論文名	(※論文名が外国語の場合は日本語訳文、日本語の場合は英語訳文を()内に記入してください)
氏名	
<p>(論文のインターネット公表が、やむをえない事由で不可であると本学が認めた場合のみ提出してください。MS明朝 10.5Pで、課題設定、方法論、実験・解析、結論・考察など、当該論文の全体が分かる形で、その内容が要約されたものを記入してください。・・・この文字は削除してください)</p>	

年 月 日

大阪公立大学大学院生活科学研究科長 様

生活科学研究科生活科学専攻
分野

博士後期課程 年次

学籍番号

名前

単位修得退学に伴う学位授与申請資格認定願

私は下記のとおり、単位修得退学を予定しておりますが、大阪公立大学大学院学則第 36 条第 2 項の規定に基づき、退学後 1 年以内の博士論文審査終了に向けて、学位授与申請論文を作成中しております。つきましては、退学に際して、貴研究科の課程博士学位授与申請資格を認めていただきますよう、お願い申し上げます。

1. 退学予定年月日	年 月 日
2. 単位修得状況	生活科学専攻〇〇分野の必修△単位を修得
3. 入学年度	年度
4. 学位授与申請予定の論文題目	「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」
論文作成の進捗状況	2025 年〇月頃完成予定、2026 年 1 月 10 日（同年 3 月学位授与式で学位授与される場合の提出期限）までに提出できる見込みです。
5. 指導教員の所見	<p>(例) <u>上記学生の研究成果を見ると、本研究科生活科学専攻の定める「学位授与審査申請要件」はすでに充足しており、また現在の論文作成の進捗ぶりから考えて、単位修得退学後 1 年以内に学位授与審査終了となるよう、学位授与審査の申請ができる見込みです。</u></p> <p>指導教員名前 ○ ○ ○ ○</p>

単位数は、成績通知書を確認して記入すること。(修了要件の単位数は入学年度により異なりますので、研究科要覧を確認すること)

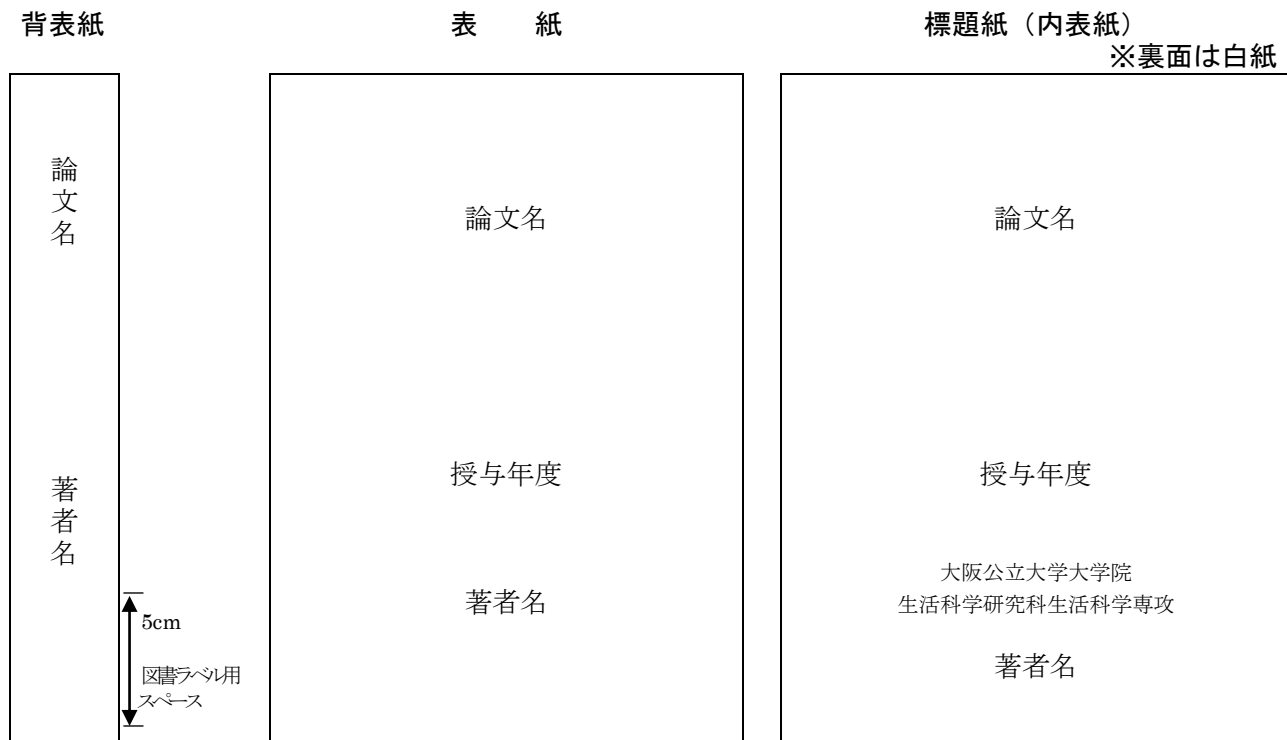
4. 課程博士学位論文製本様式等

2022.4.1

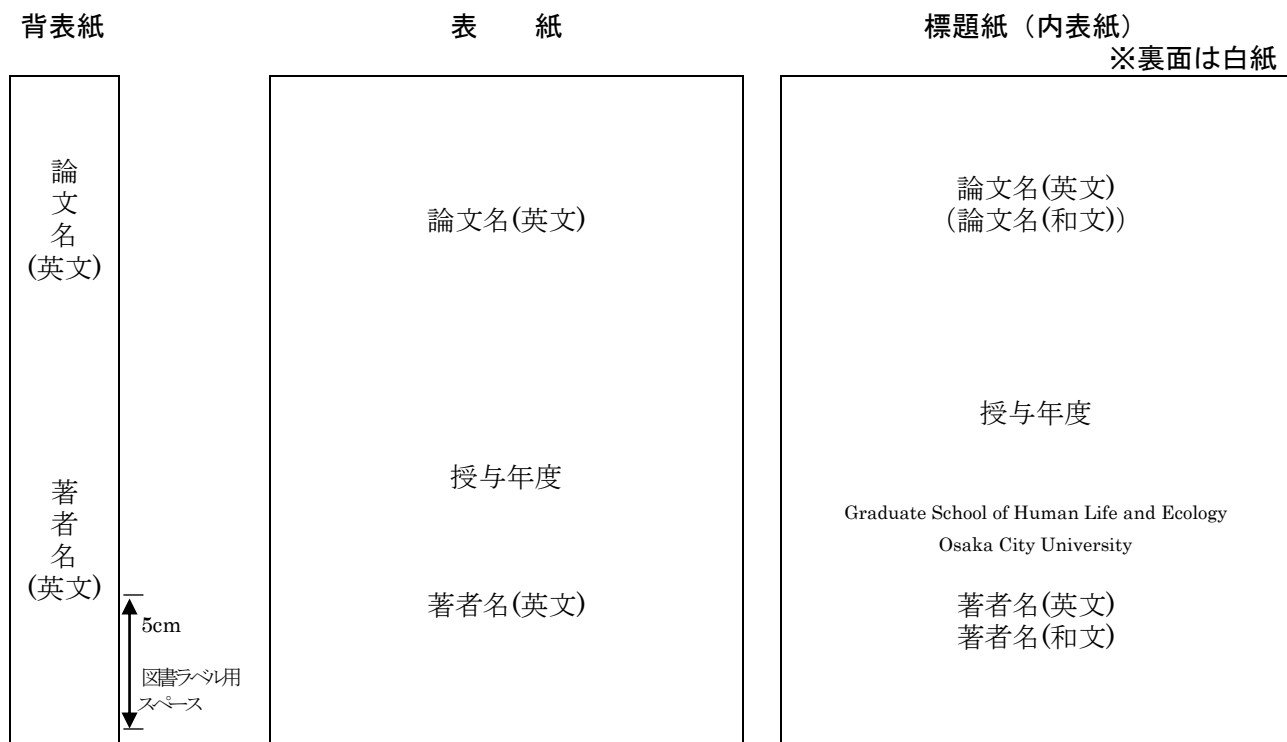
《博士学位論文》課程博士製本様式等

1. クロスの色は黒または濃紺を使用する。
2. 形状は A4 判、縦位置、横書き。(縦書き可。)
3. 表紙には次の事項を順に金文字で記入する。
 - ①論文名 ②授与年度 ③著者名
4. 背表紙には次の事項を順に金文字で記入する。
 - ①論文名 ②著者名 (下から 5cm あけること)
5. 論文の最初に標題紙 (内表紙) をつけ、次の事項を記入し、裏面は空白とする。
 - ①論文名 ②学位授与年度
 - ③研究科・専攻名『生活科学研究科 生活科学専攻』
 - ④著者名

学位論文製本作成例



※論文が英文の場合の作成例



第Ⅱ部

論文博士の博士論文作成の手引き

1. 博士学位論文の審査基準

博士学位論文審査の基準はテーマや領域によって多少異なりますが、論文としてのまとまりや完結性、一貫性、完成度を確保していることが基本条件です。さらに、「独創性」「新規性」「有用性」「体系性」「論理性」「実証性」「論証性」「普遍性」「高度性」などの価値があることとそれらの水準の高さが基準となります。このような条件を備えた論文を完成する、あるいは完成が見込まれることがまず必要です。

そのうえで、学位請求論文を提出するために申請者が満たしておくべき条件は、高度の研究能力、およびその基礎となる学識を有することを示す客観的資料があることです。

具体的には、論文審査のある学術誌に、第1著者として投稿論文が一定編数以上掲載されたか、または確実に掲載されることを評価の参考とします。ただし、これは最低限の目安であり、繰り返しになりますが、学位請求論文自体の完成度の高さと価値が前提条件となります。そのことを踏まえて、投稿論文の性質、内容や執筆経緯、学位請求論文への寄与度等を含めて総合的に評価されます。

客観的資料として、一般的には学術誌への投稿論文が参考とされます。詳細は紹介教員に照会してください。

2. 博士学位論文審査に関する手続き（論文博士）

(1) 論文博士の学位論文審査の手続き

手 順	内 容	関 係 者	作 成 書 類
1. 申請準備	意思表示 書類提出	申請者 →紹介教員 →事務	【申請者】学位予備審査申請書、 学位申請論文(予備審査)、履歴 書、論文目録、学位論文内容の 要旨、申請理由書、同意承諾書
2. 分野内事前審査	専門分野における、論文内 容等のヒアリング・回覧	申請者 →関連分野教授	(上記書類)
3. 予備審査委員会 発足	予備審査委員選出	紹介教員 →研究科教授会	(上記書類)
4. 予備審査委員会	学位申請適格性の調査	予備審査委員会	(上記書類)
5. 申請適格性判定	報告に基づき申請者の適格 性を審議、承認	予備審査委員会 →研究科教授会	【予備審査委員会】適格性につい ての報告書
6. 申 請	学位申請論文・書類の提出 (提出資格確認/紹介教員 の承認を得る)	申請者→事務	【申請者】学位授与申請書、学位 申請論文、履歴書、論文目録、学 位論文内容の要旨、学位審査手 数料 等
7. 審査委員会発足	提出者の適格性確認 論文受理の可否決定 審査委員選出	研究科教授会	上記のうち、学位申請論文、履歴 書、論文目録、学位論文内容の 要旨
8. 審 査	主査互選・運営方針 学位論文の審査及び試験 学力試験	審査委員会 事務(審査実施の 決裁)→学長	【事務】審査実施の決裁
9. 中間報告 (審査の中途)	研究科教授会へ中間報告 公聴会日程報告	審査委員会 →研究科教授会	学位申請論文、履歴書、論文目 録、学位論文内容の要旨
10. 公聴会		申請者 審査委員会	【審査委員会(主査)】公聴会の案 内
11. 最終報告 学位授与判定	研究科教授会へ最終報告 審査委員会最終報告に基づ き審議 学位授与の可否投票・決定	審査委員会 →研究科教授会	学位申請論文、履歴書、論文目 録、学位論文内容の要旨 【審査委員会】論文審査の結果の 要旨、試験の結果の要旨、学力の 確認の結果の要旨
12. 内 申		研究科長(事務) →学長へ内申	【事務】決裁・内申書
13. 学位授与	学位記授与(不授与通知)	学長→申請者	学位記(通知書)
14. 公式ウェブサイ ト用要旨提出		申請者→事務 主査→事務	【申請者】公式ウェブサイト用論文 要旨 【主査】公式ウェブサイト用審査要 旨
15. 学位論文提出		申請者→事務	【申請者】学位論文(製本)

(2) 学位授与の申請手続について(論文博士)

1. 趣旨

大阪公立大学学位規程第3条第3項による学位(以下「論文博士」という。)授与に係る申請等については以下の手続によるものとします。

2. 学位の申請

論文博士の学位を申請しようとする者は、申請に先立って予備審査を受け、その結果を確認したうえで、申請してください。

3. 予備審査

(1) 予備審査は、研究科長に提出した書類等について、学位論文審査の対象となるか否かを審査します。なお、必要に応じて試問を行うことがあります

(2) 予備審査の申請

予備審査を受けようとする者は紹介教員と十分に相談し、その同意を得た上で、次の書類等を別紙(学位論文提出時の注意事項)に基づき作成し、生活科学部教務担当に提出してください。

ただし、本研究科博士後期課程、大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程または大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が退学後5年以内に申請する場合は、下記書類「⑥申請理由書」の提出を要しません。

① 学位予備審査申請書	1部
② 学位申請論文(予備審査用)	4部及び電子ファイル(PDF)
③ 履歴書	4部
④ 論文目録	4部
⑤ 学位論文内容の要旨	4部
⑥ 申請理由書	4部
⑦ 同意承諾書(学位論文副論文中に共同研究者がいる場合)	1部

(3) 予備審査の結果は、研究科長から申請者に通知します。

4. 学位論文等の提出

予備審査の結果、学位論文審査の対象とする旨の通知を受けた者は、その通知を受けた日から3カ月以内に次の書類等を別紙(学位論文提出時の注意事項)に基づき作成のうえ、学位論文審査料を添えて、生活科学部教務担当に提出するものとします。

① 学位授与申請書	1部
② 学位申請論文	4部及び電子ファイル(PDF)
③ 履歴書	5部
④ 論文目録	5部
⑤ 学位論文内容の要旨	5部
⑥ 学位申請誓約書	1部
⑦ 同意承諾書(学位論文副論文中に共同研究者がいる場合)	1部
⑧ 最終学歴の卒業又は修了証明書	1部
⑨ 大学院博士課程単位取得退学者はその証明書	1部
⑩ 学位審査手数料(本研究科退学者で免除される場合があります)	所定の金額
⑪ 公式ウェブサイト用論文内容の要旨(学位授与後、電子ファイル提出)	1部

(注)②学位論文の部数は、審査委員数が3名を超える場合は、超えた人数を加えた部数とします。

5. 学位論文の審査及び試験

学位申請者に対し、学位論文の審査、試験を行います。試験は、提出論文を中心としてこれに関連する分野について、筆記又は口頭で行います。

6. 学力の確認

(1) 学力の確認は、学位申請者が本学大学院の博士課程を終えて学位を授与される者と同等以上の学力を有するか否かを判定するために、学位論文に関連のある分野の科目について、口述試験及び筆記試験により行う。

ただし、審査委員会が、学位申請者の学歴、業績等に基づいて学力の確認を行いうる場合は、研究科教授会の承認を得て試験の一部又は全部を省略することがあります。

(2) 本研究科博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が退学後3年以内に学位論文を提出した場合は、学力の確認を省略することができます。

7. 学位の授与

所定の審査及び試験に合格した者には、博士の学位を授与します。

8. 学位論文の公表

博士の学位を授与された場合は、授与された日から1か月以内に、製本した学位論文1部、学位論文全文の電子ファイル及び「大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書」を生活科学部教務担当に提出するとともに、1年以内に、その論文を本学の公式ウェブサイトにより公表しなければなりません。また共著者がある場合は事前に電子ファイルを国立国会図書館に送付し利用に供する旨を共著者に伝え承諾を得てください。ただし、学位を授与される以前に既に公表したときは、この限りではありません。また、やむを得ない事由がある場合には、研究科教授会の承認を受けて、当該論文の全文に代えてその内容の要約にとどめることができます。

9 全文公表できない場合の手続き

学位取得者は、学位論文全文に代えて要約を公表する「やむを得ない事由」があるときは、学位取得後速やかに「学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書」を研究科に提出してください。

「やむを得ない事由」は下記のとおりとします。

- ①インターネット公表ができない内容を含む場合
 - ・当該論文に立体形状による表現を含む場合
 - ・著作権や個人情報に係る制約がある場合
 - ・共同研究者等が非公表と定めている事項を含む場合
- ②インターネットによる公表により明らかな不利益が発生する場合
 - ・出版刊行をしている、もしくは予定されている場合
 - ・学術雑誌に掲載されている、もしくは予定されている場合
 - ・特許の申請がある、もしくは予定されている場合
- ③その他
 - ・研究科が特に「やむを得ない事由」があると認めた場合

申立てが認められた場合は、学位論文2部と学位論文の全文及び要約の電子ファイルを生活科学部教務担当に提出してください。

学位論文の要約公表が認められる期間は、立体形状、著作権、個人情報又は共同研究に係る制約がある場合を除き、学位授与日から5年以内とします。期間を過ぎても全文を公表できない場合は、改めて学位取得者又は指導教員が「学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書」を生活科学部教務担当に提出し、承諾を得なければなりません。手続きが行われない場合や、研究科の承認が得られなかった場合は、期限を過ぎた時点で全文を公表します。

(3) 学位論文等提出時の注意事項(論文博士)

大阪公立大学学位規程(以下「学位規程」という。)第5条第4項による学位(論文博士)の学位論文の審査を願ひ出る者は、「学位授与の申請手続について(論文博士)」に基づき、この注意事項にしたがって書類を作成してください。

書類に不備がある場合は受理できませんので、書類提出前に必ず再確認してください。

I 学位論文予備審査について

予備審査を受けようとするものは紹介教員と十分に相談し、その同意を得た上で、次の書類等を生活科学部教務担当に提出してください。本研究科博士後期課程、大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程または大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が退学後5年以内に申請する場合は、「6.申請理由書(様式任意)」の提出を要しません。

1. 学位論文予備審査申請書《様式(論)1》

同意承諾書(7.参照)の有無については、該当する方を○で囲んでください。

2. 学位申請論文(予備審査用)

体裁は、特に指定しませんが、学位論文とほぼ同じ内容で主な内容が既に印刷公表されたもの、又は印刷公表が確実なものです。参考として他の論文等を添付することができます。

3. 履歴書

様式又は記載事項等については、学位申請時(本申請)に提出する書類作成に準じてください。

4. 論文目録

様式又は記載事項等については、学位申請時(本申請)に提出する書類作成に準じてください。

5. 学位論文内容の要旨

様式又は記載事項等については、学位申請時(本申請)に提出する書類作成に準じてください。

6. 申請理由書

研究活動及び研究業績に触れながら、本研究科に論文を提出する理由をA4判用紙にまとめてください。

7. 同意承諾書

申請学位論文副論文に、著者順にかかわらず共同研究者がいる場合には共同研究者の承諾書を添付してください。様式又は記載事項等については、学位申請時(本申請)に提出する書類作成に準じてください。

II 学位論文審査(本審査)について

予備審査の結果、学位論文審査の対象とする旨の通知を受けた者は、その通知を受けた日から3か月以内に、次の書類等に学位審査手数料を添えて、生活科学部教務担当に提出してください。

① 学位授与申請書	1部
② 学位申請論文	4部及び電子ファイル(PDF)
③ 履歴書	5部
④ 論文目録	5部
⑤ 学位論文内容の要旨	5部
⑥ 学位申請誓約書	1部
⑦ 同意承諾書(学位論文副論文に共同研究者がいる場合)	1部
⑧ 最終学歴の卒業又は修了証明書	1部
⑨ 大学院博士課程単位修得退学者はその証明書	1部
⑩ 公式ウェブサイト用論文内容の要旨(学位授与後、3か月以内に電子ファイル提出)	1部

1. 学位授与申請書《様式(論)2》

- (1) 紹介教員の承認を得て、学位論文及び関係書類とともに生活科学部教務担当に提出してください。
- (2) 氏名は、戸籍謄本記載のとおり記入してください。
- (3) 同意承諾書の有無については、該当する方を○で囲んでください。

2. 学位申請論文

- (1) 申請時の論文は仮製本(製本テープ等で製本)してください。(ファイルしただけでは受理できません。)
- (2) 表紙に論文題目、氏名を記載してください。
- (3) 用紙は、原則として A4 判とし、縦位置、横書きとします。ただし、特別の場合は縦書きでもかまいません。
- (4) 論文はPCで作成し、印刷またはコピーしてください。
- (5) 電子ファイルは PDF 形式で提出してください。

3. 履歴書《様式(論)3》

- (1) 氏名は戸籍のとおり記載し、氏名には、ふりがなを付してください。
- (2) 本籍地は都道府県名だけを記載してください。外国人の場合は国籍を記載してください。
- (3) 現住所は、住民票に記載されている住所を記載してください。
- (4) 学歴は以下のように記入してください。
 - ① 高等学校卒業より、年次を追って記載してください。
 - ② 入学・休学・復学・退学・卒業・修了その他在籍中における異動についても、もれなく記載してください。
 - ③ 在籍中における学校の名称等の変更についても記載してください。
 - ④ 大学院後期博士課程を退学した場合は、退学の日まで記入してください。
- (5) 職歴は、常勤の職について、その勤務先、職名等を年次を追って記載してください。ただし、非常勤の職であっても、特に教育・研究に関するものについては記載するようにしてください。
- (6) 研究歴は、学位申請上、特記すべきものと思われる研究歴について、年次を追って、又は事項別に記載してください。学歴又は職歴として記載することが適当なものについては、研究歴の項に重複して記載しないでください。
- (7) 賞罰について
学位申請上、特記すべきものと思われるものを記載してください。特に記載する事項がない場合には、「特記事項なし」と記入してください。

4. 論文目録《様式(論)4》

- (1) 主論文(学位申請論文)について
 - ① 題目(副題を含む。)は、提出論文のとおり記載してください。
 - ② 外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を、題目の下に()を付して記入してください。
- (2) 副論文(主論文を構成する論文)について
副論文がある場合は、その題目を記載し、副論文がない場合は「なし」と記載してください。また、副論文の公表の方法及び時期の記載については、学位論文に準じてください。
- (3) 参考論文(主論文を直接構成しない論文)について
参考論文がある場合は、その題目を記載し、参考論文がない場合は「なし」と記載してください。また、参考論文の公表の方法及び時期の記載については、学位論文に準じてください。
- (4) その他
所定の用紙に書ききれない場合は、別紙として A4 判用紙に必要事項を記載してください。

5. 学位論文内容の要旨《様式(論)5》

- (1) 論文題目は、提出論文のとおり記載してください。なお、題目が外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を、題目の下に()を付して記入してください。
- (2) 論文が何章かに分かれている場合は、章ごとに順を追って記載してください。

6. 同意承諾書《様式(論)7》

申請学位論文副論文に、著者順にかかわらず共同研究者がいる場合には、記載例を参考として共同研究者の承諾書(A4判)を添付してください。日付は受理日の6か月以内であることを原則としますが、予備審査期間が長期になった場合はその期間を加えることもあります。(参考論文にかかる共同研究者の承諾書は不要です。)

なお、共同研究者が数名の場合の同意承諾書は1人ずつ別葉にして作成してもかまいません。

7. 最終学歴の卒業又は修了証明書

最終学歴の卒業証明書、又は修了証明書を提出してください。

8. 大学院博士課程単位取得証明書

大学院博士課程に所定の期間在学し、所定の単位を修得して退学した者は、当該証明書を提出してください。

9. 公式ウェブサイト用論文内容の要旨《様式(論)8》

- (1) 学位授与が決定した場合、本学の学術機関リポジトリで公表する博士論文要旨の原稿として電子ファイル提出してください。
- (2) 論文題目は、提出論文のとおり記載してください。なお、題目が外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を、題目の下に()を付して記入してください。

10. 学位論文(製本)

- (1) 論文は製本してください。

学位論文の製本は次のようにしてください。(4. 論文博士学位論文製本様式等をご確認ください。)

①製本はハードカバーとして、表紙の色は黒または濃紺とし、表紙に論文名・授与年度・著者名を、背表紙には論文名と著者名を金文字で記載してください。標題紙(内表紙)には表紙の項目に加えて研究科・専攻名(生活科学研究科生活科学専攻)を著者名の上部に記載してください。

②論文名が欧文の場合は、和文の題目を()に入れて記載してください。

- (2) 学位授与後に、学位論文(製本)1部と論文全文の電子ファイルに大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書《様式(論)9》を添えて、生活科学部教務担当に提出してください。

やむを得ない事由があり、論文全文を公式ウェブサイトに公表できない場合は、学位取得後速やかに学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書《様式(論)10》を生活科学部教務担当まで提出してください。研究科の承認を得て、その内容の要約《様式(論)11》と学位論文(製本)を追加で1部(計2部)提出してください。

III その他

記載にあたって不明な点があれば、生活科学部教務担当に照会してください。

3. 博士学位論文申請関係書式（論文博士）

※各様式は学生 Navi（情報共有サイト）からダウンロード可能です。

様式(論) 1	学位予備審査申請書
様式(論) 2	学位授与申請書
様式(論) 3	履歴書
様式(論) 4	論文目録
様式(論) 5	学位論文内容の要旨
様式(論) 6	学位申請誓約書
様式(論) 7	同意承諾書
様式(論) 8	論文内容の要旨・論文審査の結果の要旨（公式ウェブサイト用）
様式(論) 9	大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書
様式(課) 1 0	学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書
様式(論) 1 1	論文内容の要約

学位予備審査申請書

年 月 日

大阪公立大学大学院

生活科学研究科長 様

このたび、貴学の博士学位を申請したく、下記の書類を提出しますので、予備審査をお願いいたします。

記

紹介教員名 _____

論文題目 (外国語の場合は、その日本語訳を () 内に併記すること)

.....
.....
.....

添付書類

1. 学位論文またはその草稿
2. 履歴書
3. 論文目録
4. 論文内容の要旨
5. 申請理由書 (有 ・ 無)
6. 同意承諾書 (有 ・ 無)

予備審査申請者

(ふりがな)

氏 名 : _____

最終学歴 : _____ 年 月 _____ 卒業・修了・単位取得退学

住 所 : 〒 _____

連絡先 : _____ 自宅・勤務先

学 位 授 与 申 請 書

年 月 日

大阪公立大学長

様

住 所

氏 名

このたび、大阪公立大学学位規程第5条第4項の規定により、博士（学術）の学位を受けたく学位論文（ ）部に下記書類及び学位審査手数料を添えて申請いたします。

記

1. 論 文 目 録
2. 学位論文内容の要旨
3. 履 歴 書
4. 同 意 承 諾 書 （ 有 ・ 無 ）
5. 最終学歴の卒業または修了証明書
6. 大学院博士課程単位取得証明書
(有 ・ 無)
7. 学位審査手数料 (有 ・ 無)

履 歴 書

報告番号	乙 第 号		
(ふりがな) 氏 名	年 月 日生	性 別	男 ・ 女
生年月日		本籍地	
現 住 所			
<p>(学 歴)</p> <p>〇〇年〇月 〇〇高校 卒業</p> <p>〇〇年〇月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学</p> <p>〇〇年〇月 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 卒業</p> <p>〇〇年〇月 〇〇大学大学院〇〇研究科前期博士課程 〇〇専攻 入学</p> <p>〇〇年〇月 〇〇大学大学院〇〇研究科前期博士課程 〇〇専攻 修了</p> <p>〇〇年〇月 〇〇大学大学院〇〇研究科後期博士課程 〇〇専攻 入学</p> <p>〇〇年〇月〇日 〇〇大学大学院〇〇研究科後期博士課程 〇〇専攻 退学 (現在に至る)</p> <p>(職 歴)</p> <p>(研 究 歴)</p> <p>(賞 罰)</p>			

論 文 目 録

報告番号	乙 第 号	氏 名
<p>主 論 文</p> <p>○○○○○○○○○○</p> <p>(※外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を () 内に記入してください)</p> <p>副 論 文</p> <p>○○○○○○○○○○</p> <p>参考論文</p> <p>○○○○○○○○○○</p>		

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

報告番号	乙 第 号
論 文 名	(※論文名が外国語の場合は日本語訳文、日本語の場合は英語訳文を () 内に記入してください)
氏 名	

学位申請誓約書

年 月 日

大阪公立大学院生活科学研究科長 殿

私は、提出する学位申請論文について、研究不正を行わず、適正に執筆したことを誓約いたします。

学位論文名：

(題名が外国語で表示している場合は、日本語訳を併記すること)

フリガナ

氏 名 _____

生年月日 _____ 年 月 日

本 籍 _____ 都道府県

現住所 〒 _____

同意承諾書

私は、下記の共同研究論文を〇〇〇氏の学位論文とすることを承諾します。
なお、この論文を再び私の学位論文に使用することはありません。

記

論文題目 (外国語の場合は、その日本語訳を付記すること)

(論文題目) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

学会誌・雑誌名, 巻号, ページ, 発行年月

年 月 日

共同研究者

氏名

氏名

氏名

(注) 共同研究者が複数の場合の同意承諾書は1人ずつ別葉にしてもよい。

様式(論) 8

論文審査の概要表 記載における注意(※注意文は削除してください)

- ・MS明朝、10.5ポイント、全角で記入ください。
- ・氏名の間は1スペース空けてください。

氏	名
学 位 の 種 類	
学 位 授 与 年 月 日	
学 位 論 文 名	
論文審査委員	主査
	副査
	副査

論文内容の要旨

論文審査結果の要旨

大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書

年 月 日

大阪公立大学図書館長 様

- 私が大阪公立大学に提出した博士学位論文について、全文を本学の学術情報リポジトリに登録し公表することを申請します。
- 私が大阪公立大学に提出した博士学位論文について、全文に代えて要約を公表することが認められたので、要約を本学の学術情報リポジトリに登録し公表するとともに、博士論文全文（冊子）を本学図書館に保管を委託し閲覧に供することを申請します。

フリガナ

博士論文提出者 氏名（自署）

研究指導教員として、上記を了承します。

研究指導教員 氏名（自署）

論文題目（和文）	
論文題目（欧文）	
研究指導教員の 所属・職・氏名	
その他の連絡事項	
電子データ 提出予定日	年 月 日（この書類の提出の後に電子データを提出する場合）

連絡先

所 属	
住 所	
電話番号	
電子メールアドレス	

* 全文に代えて要約を公表することが認められた場合は、

1. 「学位論文全文に代えて要約を公表することの承認通知書」の写しを添付してください。
2. 学位論文要約、及び全文の電子ファイルを提出してください。なお、公表できない事由が解消して全文公表が可能となった場合は、速やかに学位論文全文をリポジトリで公表し、冊子体の学位論文の取り扱いは図書館の運用に準ずるものとします。

* 電子ファイルは、PDF 化して電子媒体にて、教育推進課生活科学部教務担当に提出してください。

* 記載いただいた事項は目的外の用途には使用しません。

* 連絡先については、修了後も連絡が取れる電話番号、アドレスを記載してください。

また、電子メールアドレスには、大学から付与された omu アドレス以外を記入してください。

学位論文全文に代えて要約を公表することの

申 立 書

年 月 日

大阪公立大学 学長 様

申立者 住 所

氏 名 (自署)

研究指導教員 所属・職

氏 名 (自署)

学位取得者 氏 名			
学位の名称	博士 ()	取得年月日	年 月 日
学位論文名			
全文に代えて要約を公表する事由			
<input type="checkbox"/> 当該論文に立体形状による表現を含むため <input type="checkbox"/> 著作権や個人情報に係る制約があるため <input type="checkbox"/> 共同研究者等が非公表と定めている事項を含むため <input type="checkbox"/> 出版刊行をしているため <input type="checkbox"/> 出版刊行が予定されているため <input type="checkbox"/> 学術雑誌に掲載されているため <input type="checkbox"/> 学術雑誌に掲載が予定されているため <input type="checkbox"/> 特許の申請があるため <input type="checkbox"/> 特許の申請が予定されているため <input type="checkbox"/> その他 () (上記事由の具体的説明)			
要約を公表する 期 間			

※要約公表期間は学位授与日から最長5年以内(立体形状、著作権、個人情報又は共同研究に係る制約がある場合を除く)。当初の要約公表期間を延長する場合は、改めて本様式を研究科に提出する。

論 文 内 容 の 要 約

論文名	(※論文名が外国語の場合は日本語訳文、日本語の場合は英語訳文を()内に記入してください)
氏名	(論文のインターネット公表が、やむをえない事由で不可であると本学が認めた場合のみ提出してください。MS明朝 10.5Pで、課題設定、方法論、実験・解析、結論・考察など、当該論文の全体が分かる形で、その内容が要約されたものを記入してください。・・・この文字は削除してください)

4. 論文博士学位論文製本様式等

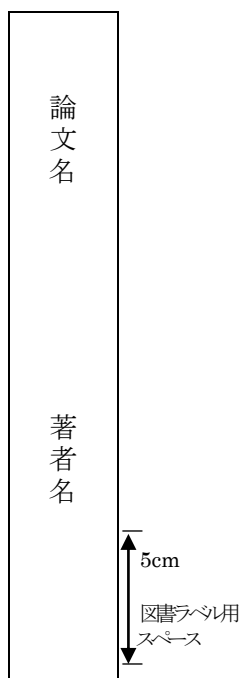
2007.4.1

《博士学位論文》論文博士製本様式等

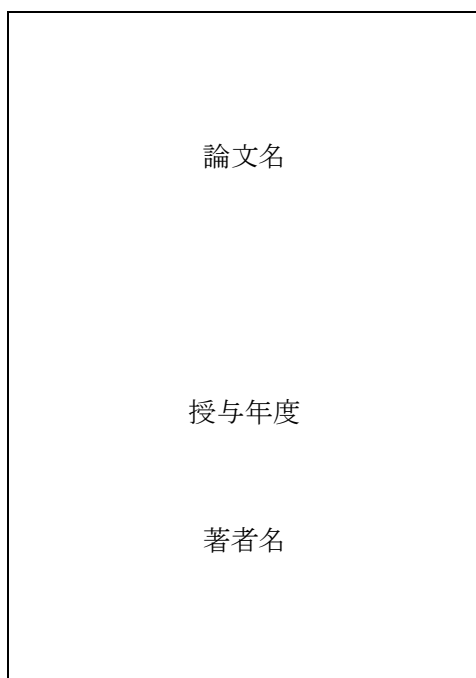
1. クロスの色は黒または濃紺を使用する。
2. 形状は A4 判、縦位置、横書き。(縦書き可。)
3. 表紙には次の事項を順に金文字で記入する。
 - ①論文名 ②授与年度 ③著者名
4. 背表紙には次の事項を順に金文字で記入する。
 - ①論文名 ②著者名 (下から 5cm あけること)
5. 論文の最初に標題紙 (内表紙) をつけ、次の事項を記入し、裏面は空白とする。
 - ①論文名 ②学位授与年度
 - ③著者名

学位論文製本作成例

背表紙

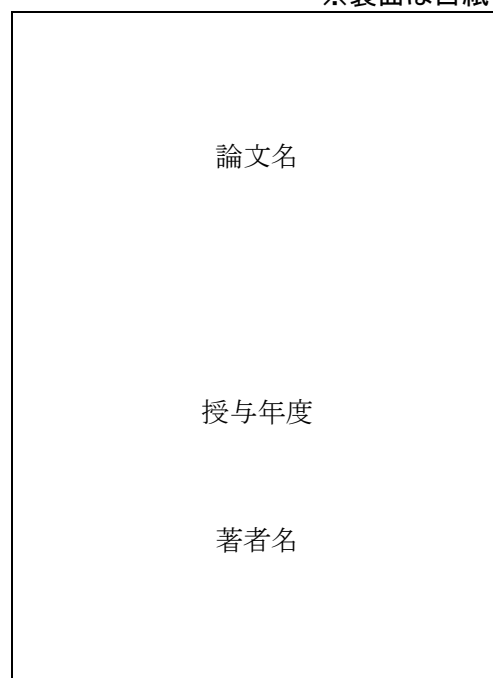


表紙



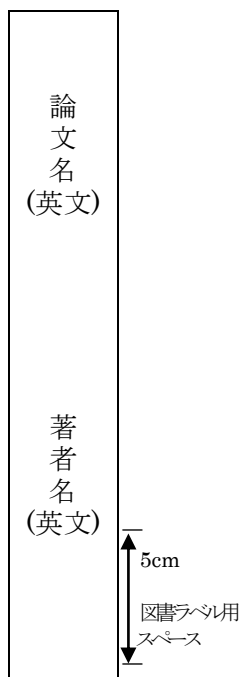
標題紙 (内表紙)

※裏面は白紙

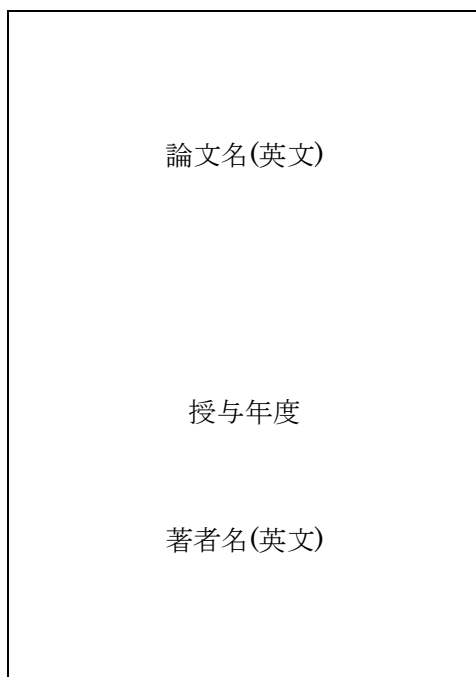


※論文が英文の場合の作成例

背表紙

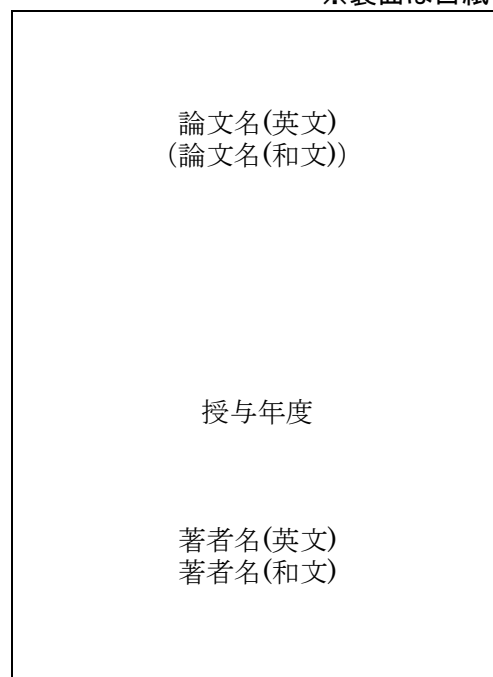


表紙



標題紙 (内表紙)

※裏面は白紙



第Ⅲ部

学位論文関係申合せ・規程・規則

生活科学研究科における博士論文審査手続きに関する研究科の申合せと大学の規程、規則を下記に掲載しています。第Ⅰ部、第Ⅱ部の「博士学位論文審査に関する手続き」はこれらの申合せや規程等をもとに記述されています。

1. 博士学位授与に審査手続きに関する申合せ

- (1) 大阪公立大学大学院生活科学研究科 課程博士の学位授与に係る審査手続等に関する申合せ
- (2) 大阪公立大学大学院生活科学研究科 論文博士の学位授与に係る審査手続等に関する申合せ
- (3) 生活科学研究科 博士論文受理にあたっての申請者の研究業績に関する申合せ

2. 博士学位論文審査の関係規程・規則

- (1) 大阪公立大学大学院学則
- (2) 大阪公立大学学位規程
- (3) 大阪公立大学学位論文の公表に関する取扱要領
- (4) 大阪公立大学授業料等に関する規程
- (5) 大阪公立大学大学院生活科学研究科履修規程
- (6) 大阪公立大学大学院生活科学研究科学位論文取扱内規

<書式改訂予定 Plans to revise the form>

Doctoral Thesis Application Form (Course Doctorates/Thesis Doctorates)

※You can download application forms from the student navi site.

Form 1 (Thesis)	Application for Preliminary Review for Degree
Form 1 (Course)/2 (Thesis)	Application for Degree
Form 2 (Course)/3 (Thesis)	Curriculum Vitae
Form 3 (Course)/4 (Thesis)	Catalogue of Articles
Form 4 (Course)/5 (Thesis)	Synopsis of Thesis Content
Form 5 (Course)/6 (Thesis)	Written Oath for Degree Application
Form 6 (Course)/7 (Thesis)	Consent Form

Application for Preliminary Review for Degree

Date:

Dean, Graduate School of Human Life and Ecology
Osaka Metropolitan University Graduate School

With the submission of the documents listed below, I hereby request preliminary review of my thesis for the doctoral degree at your university.

Supervising Faculty Member _____

Thesis Title (if in a foreign language, include the Japanese translation in parentheses afterwards)

.....
.....
.....

Attached Materials

1. Doctoral thesis or draft thesis
2. Curriculum vitae
3. Catalogue of articles
4. Synopsis of thesis content
5. Statement of reason for application (Y/N)
6. Consent form (Y/N)

Person Applying for Preliminary Review for Degree

Name: _____

Highest current degree: _____ (year/month)
Graduated/Completed/Completed credit requirements

Address:

Contact details: Home/Work _____

Application for Degree

Date:

President, Osaka Metropolitan University

Major: _____, Graduate School of Human Life and Ecology

Name

I hereby request the degree of Doctor of (_____), and enclose
(_____) copies of my thesis along with the following required documents.

Documents

1. Certificate of Credit Acquisition (or Expected Acquisition)
2. Catalogue of articles
3. Synopsis of thesis content
4. Curriculum vitae
5. Consent form (Y / N)

Curriculum Vitae

Report No.	Kou No.		
Name		Sex	Male/Female
Date of birth		Registered domicile /Nationality	
	Born (month / day)	(year)	
Current address			
<p>(Academic Career) Start from the completion of secondary education</p> <p>__year__ month _____ High School Graduated</p> <p>__year__ month _____ University, Department of _____, _____ Course Started</p> <p>__year__ month _____ University, Department of _____, _____ Course Graduated</p> <p>__year__ month _____ Univeristy, Graduate School of _____, Master's Course in _____ Started</p> <p>__year__ month _____ Univeristy, Graduate School of _____, Master's Course in _____ Completed</p> <p>__year__ month _____ Univeristy, Graduate School of _____, Doctoral Course in _____ Started</p> <p>(to present)</p>			
<p>(Employment history)</p>			
<p>(Research history)</p>			
<p>(Rewards/Punishments)</p>			

Catalogue of Articles

Report No.	Kou No.	Name	
Primary Articles			
○○○○○○○○○○			
(○○○○○○○○○○○○)			
(*In parentheses, add the Japanese translation if in a foreign language or the English translation if in Japanese)			
Secondary Articles			
○○○○○○○○○○			
Reference Articles			
○○○○○○○○○○			

Synopsis of Thesis Content

Report No.	Kou No.
Thesis Name	(*In parentheses, add the Japanese translation if in a foreign language or the English translation if in Japanese)
Name	

Written Oath for Degree Application

Date:

Dean, Graduate School of Human Life and Ecology, Osaka Metropolitan
University

I hereby swear that the thesis submitted for application for the degree has been
written appropriately and without any improprieties in the research.

Thesis Name:

(If the thesis name is in a foreign language, add the Japanese translation)

Name _____

Date of birth _____ (Y) _____ (M) _____ (D)

Registered domicile/Nationality _____

Current address _____

Consent Form

I/We hereby grant consent for the following joint research to be used as a degree thesis by _____ (name).

I also affirm that this thesis will not be reused for my/our own degree thesis/es.

Thesis Title (if in a foreign language, include the Japanese translation)

(Thesis title) ○○○○○○○○○○

Journal/magazine name, volume, pages, date of issue

Date:

Joint Researchers

Name

Name

Name

NB: If there are multiple joint researchers, each researcher may also submit a separate Consent Form.